

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	固定資産税(土地)賦課業務			事業コード	0146
担当課等	所属名	財政部 資産税課	担当係名		
	課長名	久保田 正文	担当者名	保坂友紀	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	健全な財政運営の実現	コード 1
	基本事業	賦課の適正化と収納率の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 02款02項02目 土地評価資料整備事業 (001-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 地方税法制定昭和25年度～)					
事務事業の概要	固定資産税賦課期日(毎年1月1日)現在における土地利用状況を正確に把握し、適正な評価に基づく固定資産税(土地)の賦課を行う。					
根拠法令等	地方税法及び固定資産評価基準					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和25年の地方税法制定及びその後定められた固定資産評価基準による。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
地価の下落傾向に反して税額が上昇していることについての問い合わせが多い。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
対象者及び根拠法令に大きな変化はない。税負担の均衡化の措置により、本来の課税標準額に達してきている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市内全域の土地(平成21年度までは玉山区を除く)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市内全域の土地(平成21年度までは玉山区を除く)	単位	筆
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 法務局等からの土地の所有権移転・分合筆等の異動通知に基づき現地調査により状況を正確に把握し、土地の固定資産評価額を算出した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 法務局等からの土地の所有権移転・分合筆等の異動通知に基づき現地調査により状況を正確に把握し、土地の固定資産評価額を算出する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 異動処理件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	土地を適正に評価し固定資産税を賦課する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 総賦課件数に占める税額変更件数の割合=税額変更件数/総賦課件数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図、上位の基本事業にどのように貢献するか)	適正に賦課して自主財源を確保する	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	一般会計市税収納率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市内全域の土地(平成21年度までは玉山区を除く)	筆	352,536	355,856	420,900	421,895	422,000	422,000	23年度 422,000
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	異動処理件数	件	20810	18,311	21,000	17,558	19,000	19,000	23年度 19,000
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	総賦課件数に占める税額変更件数の割合=税額変更件数/総賦課件数	%	0.09	0.06	0.05	0.04	0.04	0.04	23年度 0.04
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	16,350	16,411	16,625	16,345	16,444	16,444	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	16,350	16,411	16,625	16,345	16,444	16,444	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	16,350	16,411	16,625	16,345	16,444	16,444	*****
	延べ業務時間数	時間	12,000	12,000	14,000	14,000	14,000	14,000	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	48,000	48,000	56,000	56,000	56,000	56,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	64,350	64,411	72,625	72,345	72,444	72,444	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 適正な賦課をすることにより、納税者の理解を得ることができ財源の確保に繋がる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 図面のデジタル化やシステムの一元化
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 安定した財源の確保ができなくなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 固定資産税(家屋)賦課業務 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 各々の専門性が高いため。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状では最小限である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 図面のデジタル化やシステムの一元化によって事務の効率化を図ることは可能である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 地方税法に基づいている。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 地方税法に基づいている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 図面のデジタル化、航空写真の整備及び電算事務処理システムの整備により、成果及び効率性の向上を図ることができると考えられる。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 航空写真の整備等、さらなる効率化を図るためには、当課のみでなく複数の課を跨いで利用する等のコスト削減対策が必要であると考えられる。</p>
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点) 土地の所有権移転や分合筆等の異動通知に基づいて現地調査を実施し、利用状況を把握して、公正・適正な賦課に努めた。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												

今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>図面のデジタル化の推進及び電算事務処理システムを整備する。また、航空写真の整備について全庁的に利用できるように施策を推進する。</p>	<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携				
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止					